

五、大野浩司教会長さんの時代（昭和四八年～昭和五六年）

大野教会長さんは会長先生の「少欲知足の精神が、現代社会を救う道」との教えを生かし、物を大切にすることが自己変革の第一歩であり、明るい社会の建設へとつながると考えていました。そして、教会長就任にあたり仙台教会が地域社会と交流を深めることは良いが、会員の救済に欠けることが出てしまうのではないかと考え、青年部と幹部の育成の必要性を痛感していました。

青年部活動は昭和五十年に庭野欽司郎青年本部長をお迎えして行われた宮城教区青年部結集大会を機に活発化しました。とりわけ庭野欽司郎青年本部長が提唱した節食運動は、青年部の共感を呼び街頭布教や他の宗教団体青年部との交流を実現させました。加えて谷村公重長町支部長さんをはじめとする幹部さんも青年部の人材育成に励み、佐藤晏弘さん・追木博さん・斉藤太助さんなどが青年部活動を推進するまでに成長しました。明社運動についても大野教会長さんは野崎宮城教区長さんと共に組織化を進め、昭和五一年八月には宮城県明社推進協議会結成大会を開催するまでに具体化させました。そして翌五二年四月二十日に会長先生を迎えて第一回宮城県明社推進大会を開催しました。昭和五三年には宮城県沖地震によって教会道場は倒壊し、会員宅損壊など被害が続出しました。大野教会長さん中心に道場の復旧と被災会員の対応に取り掛かりました。

【仙台教会】

昭和四八年 (一九七三年)

十二月一日 大野浩司教会長就任(前函館教会長)

十二月一日 仙台支部発足十四周年記念式典

教勢「五支部 六、三六一世帯」

昭和四九年

一月一日 教勢発展に伴い支部分割して七支部に統合

(仙南法座所開設(笹森宅借用))

二月十五日 田沢智治 時局講演会開催

十二月一日 仙台支部発足十五周年記念式典

【教団】

【社会の動き】

七月十八日 第一回「青年の船」が

フィリピンなどに就航

オイルショック

コンビニ一号店開店

八月二八日 第二回WCRP開催



【昭和四八年 田中教会会長さん、大野教会会長さん、
右から野崎教区長さん、佐々木支部長さん、
菊地議員さん、小塚支部長さん、宮島さん】



【昭和四九年 仙南法座所開設】
笹森さん宅借用

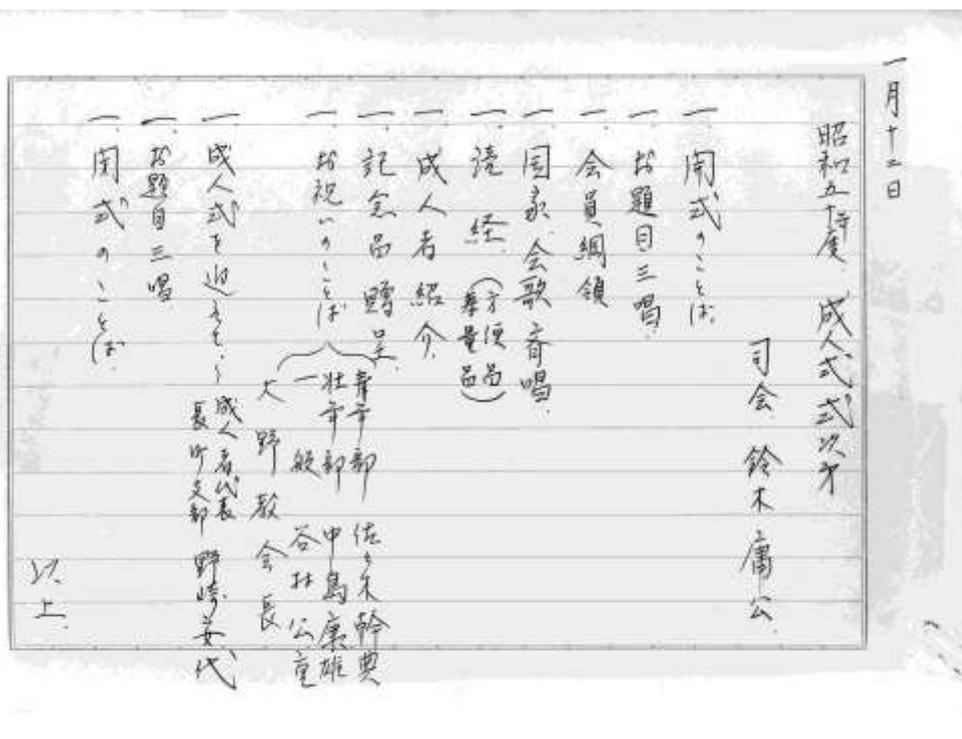


【昭和四十九年 仙南法座所開設】

笹森支部長さん



【昭和五十年 成人式次第】



昭和五十年

ベトナム戦争終結

一月一日 元旦初参り式典開催 司会 佐々木幹典

参拝者数 千六十五名

奉献の儀 (男女部、高校部、壮年部 六六名)

決意発表 高校部 結城利之 青年部 伊藤晃道

挨拶 小塚支部長

「現代の世相の中にあつて会長先生のお示し下さった開頭の
年をより一層の精進をお誓い致します。」

大野教会長

「昭和五十年をお迎えしおめでとうございます。今年は本当に
自分の行を正し、お導きに専念して頂きたい。」

一月五日

初ご命日開催 司会 佐々木幹典

献灯・献花の儀 青年女子部 青年婦人部

ご講話 大野教会長

一月号校成誌 「行によって仏性を開顕しよう」

危機を乗り越える最高の道

- ・ 内に蔵するものを活性化せよ
- ・ 自分に仏性があるかどうか認識する
- ・ 社会を平和にしていこうとするならば、諸法無我の法則を
知らなければならない

- ・ 行から得たものは決して失わない
 - ・ 根本仏教をみにつけ物を大切にす
 - ・ 自他共に仏性開顯のために猛精進をする
- そして日本の危機、人類の危機を乗り越える

一月十二日 成人式 司会 鈴木庸公 成人代表 野崎安代

一月十三日 主任・入神練成会実施

一月十五日 釈迦牟尼仏ご命日

体験説法 星かほる（仙塩支部） 斉藤恭代（古川支部支部長）

寒中読誦修行 靈感修行

一月二五日
～二月三日

二月三日 節分会式典開催 司会 森敬典

体験説法 菅原良枝（長町支部）
豆まき

午後 祝杯の儀

二月五日 新入会員の集い開催

研修講師 志賀野教務員

一、 本会のご本尊について

二、 先祖供養の意味 利供養・敬供養・行供養

三、法座について

他の宗教にない佼成会独特のもので本会の生命源

反省、さんげ、磨きあいの場

四、新入会員さんへの結び

高橋ハチノさん本人の誓い

・ご供養をさせて頂く

・ご主人に真心のお茶を入れさせて頂く

二月十五日

涅槃会式典開催 司会 吉沢章匡

体験説法 打保嘉子(中央支部主任)

渡辺守代(石巻教会主任) 戸沢支部長(石巻教会)

講話 野崎教区長

「会長先生は、仏性開顕は行動の中にあると申される。

行動出来ないのは、業が邪魔になっている。」

挨拶 大野教会長

「釈迦様は仏教徒の指導者とか、私は偉人だからとか

決しておっしゃらなかった。自分自身で行うという

ことは如何に大切か深くお示し下さった。」

三月五日

創立三七周年記念式典開催 司会 佐藤容子

奉献の儀 青年婦人部

体験説法 増貴代（北支部） 佐藤和子（東支部） 小竹支部長（中央支部）

講話 大野教会長

「会長先生が佼成会を創立して下さらなかつたら、今はあり得ないのです。仏さまのお心を知らないと導かれ、だからとしか思わないが、研修を受けると心から解つてきます。」

三月二二日

春季彼岸会法要開催 司会 佐々木幹典 戒名供養願い 二、五一三家

奉献の儀 代表組長二四名

講話 大野教会長

「自分自身を高める→回向すること。人の喜ぶことを積み重ねることが大切。今日の佳き日にご本仏さまの前で、会長先生の教えを実行させて頂く事をお誓いし精進の糧にして頂きたい。」

三月二八日

八幡大菩薩ご命日

筋ジストロフィー映画上映（西多賀ベッツスクール後援）

四月六日

降誕会式典開催

花まつりの意義 佐藤倭世（長町支部 青年婦人部）

献灯・献花 少年部、青年婦人部

賛嘆文奏上 松上泰弘（中央支部）

講話 大野教会長

四月八日 フィリピンに

フレンドシップタワー建立

「何か事があると、つい相手であるかのように思う。公害もインフレも自分にあると常に悟れるように仏さまの智慧を頂く修行をさせて頂く。立正佼成会は釈尊教団といわれているが、自分の幸せのみでなく、社会国家全体が幸せになりますように一層の精進をして頂きたい。」

甘茶供養

七月十五日 孟蘭盆会大法要開催 司会 岡崎伊津子

ご供養願い 二、六七五家 (伊達家、原田家ご供養)

奉献の儀 組長代表二十名

七月二十七日 庭野日鑛先生(布教本部長)をお迎えし

宮城教区幹部結集大会を開催 (仙台市民会館 千五百名参加)

司会 吉沢章匡

八月五日 壮年部 七面山練成登山を実施 (五十名参加)

八月十日 高校部みちのく友情大会に参加

(普門館 東北、宮城、奥羽教区二千八百人参加)

八月二十八日 八幡大菩薩ご命日

教養講座 仙台市立博物館館長 星智雄氏

九月七日 庭野欽司郎青年本部長をお迎えし

宮城教区青年部結集大会を開催 (石巻市民会館 二千人参加)

九月二十四日

秋季彼岸会法要

導師 大野浩司教会長 副導師 小塚支部長 中鉢支部長 説法 阿部 昭
奉献の儀

名取支部 斉藤のり子 寺沢よし子

北支部 熊野泰子 高橋成子

中央支部 秋野浩子 山本俊子

東支部 山田恵子 高橋政子 兵藤ゆり子 伊藤郁子

長町支部 千葉幸江 佐藤きよえ 佐藤欣子 佐藤桂子 太田興子

佐藤恵子 野崎安代 太田豊子 川村治代 佐山和枝

十月一日 節食運動に取り組み開始(毎月 一日、二一日、二二日)

十一月九日 少年部結成式 初代少年部長 佐々木康代 司会 結城利之

読経供養 導師 佐々木幹典 青年部長

副導師 鈴木青年部庶務 草野青年女子部員

祝辞 片桐女子部長 岡崎婦人部長 結城高校部長

佐々木青年支部長 中島壮年部長 中村支部長

十一月十五日 会長先生お誕生会(古希のお祝い) 参拝者 八百名

導師 和田事務長 副導師 小塚支部長 中鉢支部長

奉献の儀 長町支部 佐々木 佐藤和子 佐藤倭世

中央支部 菅井延枝 小野桂子 竹重栄子

北支部 太田正子 細川しづ子 吉田

東支部 中條賀代 葛岡敏江 高橋とし子

十二月一日

仙台支部発足十六周年記念式典

司会 佐々木康予

体験説法

中村佳子（東支部）

佐々木啓予（古川支部）

小塚支部長（名取支部）

十二月八日

成道会式典開催

支部別法座

小川 いづこさん（青葉支部会計）の体験

「昭和三十年、父が釜石教会で佼成会のご縁を頂き、祖父、母も熱心に活動するようになり、我が家はいつも僧伽の方々が出入りをしているのが日常の光景でした。物心ついた時から開祖さまのお写真の笑顔が私達を見守って下さっていました。」

昭和四十三年、家族で仙台に移り住み、間もなく私も青年女子部員として会社勤めをしながら、忙しくも充実した日々を過ごさせて頂きました。多くの体験の中から今でも鮮明

に思い出される事は、昭和五十年九月、石巻にて開催された「宮城教区青年結集大会」です。当時は青年の入部登録が推進され、主任さん方の昼夜を問わないお手取りのお蔭様で、新しい仲間がどんどん増えていっておいりました。その大会は全国のトップを切り、二千人が結集、佼成ウインドオーケストラの演奏で開幕、当時青年本部長の欽司郎先生がご出席されました。そのお話しの中で、先生は「節食運動」（現在の「一食運動」）を提唱されたのです。食事を抜いて献金をし、飢餓に苦しむ発展途上国の子供達をお救いする。という運動です。同感同苦の精神で実践するそのすばらしい運動に参加者皆感動し、すぐに実行委員会が発足しました。会員さんの喜びの実践行、献金の額が、ミニ新聞で報告され、未会員、友人知人の方も協力するようになっていきました。

あれから三十数年が過ぎ、一食運動、アフ毛、ゆめポツケ、募金活動など、世界の平和を願われた開祖さまの熱意が、多くの青年によって実行され、地球規模の思いやりの輪が広がっています。仙台教会も次世代の青年が育っており、今年の少年部キャンプでは、お世話役の学生、大人も大変喜んで帰って来ました。開祖さまの笑顔に励まされ、多くの先輩の皆様が育てて頂いた恩返しは、「法燈」を、我が子はもちろん、ご縁の方々につないでいく事と、誓願させて頂きます。 合掌

（青葉支部五十周年記念誌より）

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

昭和五一年

青年本部長に村瀬氏就任

ロッキード事件

一月一日 元旦初参り式典開催 司会 結城利之

献灯 高校部 献選 壮年部 献花 女子部

挨拶 高校部長 吉沢佐江子 男子部長 鈴木庸公

女子部長 片桐伸江 少年部長 佐々木康子

壮年部長 中島康雄 支部長 谷村公重

一月十一日 成人式 司会 鈴木章友

新成人お礼の言葉 猪俣春美、寺沢よし子

一月二五日 ヤング壮年部発足式典開催 司会 遠藤和伸

体験説法 伊藤享正（名取支部）

来賓祝辞 菊地辰夫 県議会議員 愛知和男 衆議院議員

就任挨拶 佐々木幹典

一月二七日 寒中読誦修行 靈感修行

二月三日

二月四日 節分会式典開催 司会 庄子恭代

体験説法 斉藤光代（長町支部）

二月十五日 涅槃会式典開催 司会 橋本昇彦

奉献の儀 青年女子部二十名

体験説法 奥田京子（中央支部）

三月七日 創立三八周年記念式典開催 司会 草野雅代

奉献の儀 班長代表二十名

導師 大野浩司 副導師 伊藤晃道 大沢宏至

決意発表 少年部代表 塚本悦子 青年女子代表 寺沢よし子

青年男子代表 佐藤康弘 ヤング壮年代表 伊藤晃道

壮年部代表 村上益央 家庭青年部 齊藤れい子

組長代表 中村かよ 主任代表 菅野江身子

支部長代表 谷村公重

二部司会 大原章嘉

三月十四日 七面大明神ご命日式典開催（青年部ご命日） 司会 齊藤太助

辞令授与 青年部員手帳配布（この年から部員手帳配布開始）

挨拶 大原章嘉 庶務

三月二十二日 春季彼岸会法要開催 司会 武田起代子

戒名供養願い 二、八二七家

奉献の儀 班長代表

体験説法 菅原淑江

講話 中村支部長（東支部）

四月十一日 降誕会式典開催 司会 猪俣春美

奉献の儀 甘茶供養 幼少年部

賛嘆文奏上 兵藤京子(東支部)

五月 家庭教育研修会参加 佐々木康予、野瀬享子

六月二七日 父の日式典開催

作文発表 少年部、婦人部

挨拶 大野教会長

プレゼント(似顔絵等) 感謝の言葉 高橋伸悦(東支部)

七月十五日 孟蘭盆会式典開催 司会 武田起代子

奉献の儀 婦人部二十名

体験説法 千葉昌代(古川支部)

講話 大野教会長

七月二四日 青年館地鎮祭祈願供養

〓三十日

七月三一日 青年館地鎮祭開催 司会 鈴木庸公

読経供養

四方清めの儀 野崎教区長 大野教会長 銭高組代表

鍬入れの儀 野崎教区長 大野教会長 銭高組代表

挨拶 野崎教区長 本部代表 銭高組代表

謝辞 大野教会長

八月十五日 第三回高校部友情大会開催

八月 第一回「高校の船」沖繩に周航

会場 身体障害者体育センター 参加者二百名

助言者 野崎教区長 酒井教務員(本部) 大野教会長 志賀野支部長

司会 村上くみ子 開会の言葉 佐藤誠一 放送 菊地きみ子

アトラクション 志鎌則子

八月二八日 宮城県明社推進協議会結成大会 (宮城県婦人会館)

講演 学習院大学教授 飯坂良明氏

世話人 森 茂氏 河北新報社長 一力一夫氏

宮城県知事 山本荘一郎 仙台市長 島野武

九月十五日 青年部説法会開催 司会 斉藤太助

代表挨拶 川村治代

体験説法 佐藤誠一(高校部) 斉藤和子(青年部)

安達 (仙南支部) 今野良子(名取支部)

講話 大野教会長

九月二三日 秋季彼岸会法要開催 司会 草野雅代

奉献の儀 青年女子部二十名

体験説法 井上久美子(高校部)

講話 野崎教区長

十月三日 運動会開催 (厚生年金スポーツセンター)

十月二日 青年館上棟式 司会 草野雅代(六百名参拝)

読経供養 導師 野崎教区長 副導師 鈴木庸公 佐藤晃弘

四方清めの儀 野崎教区長 本部代表 大野教会長 錢高組代表
挨拶 野崎教区長 錢高組代表 謝辞 大野教会長

十一月七日 敬老会 司会 山寺利江子

読経供養 導師 大野教会長 副導師 佐藤晏弘 金子雄哉

お祝いの言葉 大野教会長 笹森支部長 青年部 沼田恵美子

お礼のことば 六車昌弘

第二部 演芸 司会 佐藤兼一

十一月二八日 宮城教区青年部(こ)指導会(石巻教会)

講話 村瀬青年本部長

十一月二五日 第一回ACRP開催

十二月八日 成道会式典開催

十二月十五日 婦人部五百人結集大会 司会 佐藤婦人部庶務

体験説法 沼田恵美子(婦人部) 及川奈三江(婦人部)

講話 片桐学林課長

お礼の言葉 岡崎伊津子 婦人部長

十二月十九日 仙台支部発足十七周年記念式典開催 司会 大原章嘉

奉献の儀 青年女子部二十名

体験説法 金子雄哉(東支部男子部長) 佐藤友快(壮年部) 平野隆子(女子部)

講話 野崎教区長

祝辞 菊地辰夫県議会議員

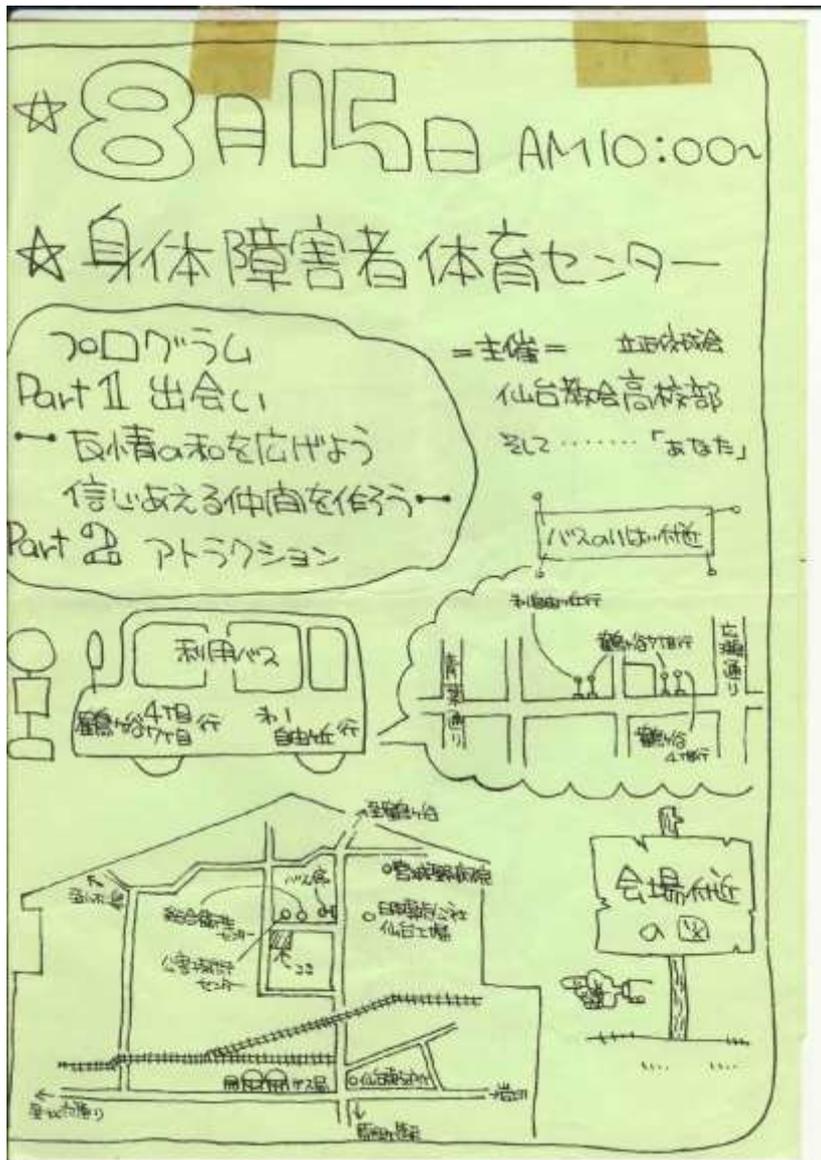
謝辞 大野教会長

献華の儀 お役名

沼田恵美子	秋野浩子	野崎益代	遠藤裕子
高次三枝子	佐藤恵子	飯沼洋子	茅野権代
松本章子	織笠友理子	小野美智子	熊野かい子
寺沢ふじ子	佐藤由美子	佐々木恵子	平等いづ子
伊藤高子	有藤のり子	森順子	遠藤洋子

以上 20名

【昭和五十一年元旦初参り式典奉献の儀】
(女子部 二十名)



【八月十五日第三回高校部友情大会開催】

【昭和五十一年十月三日 運動会開催（厚生年金スポーツセンター）】

立正佼成会 運動会

10月3日 (10:00 - 17:00)
 所 豊後県立厚生年金スポーツセンター

会 歌 (敬愛歌) 1. 立正佼成会 2. 立正佼成会 3. 立正佼成会 4. 立正佼成会 5. 立正佼成会 6. 立正佼成会 7. 立正佼成会 8. 立正佼成会 9. 立正佼成会 10. 立正佼成会 11. 立正佼成会 12. 立正佼成会 13. 立正佼成会 14. 立正佼成会 15. 立正佼成会 16. 立正佼成会 17. 立正佼成会 18. 立正佼成会 19. 立正佼成会 20. 立正佼成会 21. 立正佼成会 22. 立正佼成会

7:00 ケラシ		10:00	
9:30	1 入場行進	1 選手入場	1 旗手入場
	2 前会宣言	2 表彰式	2 五入れ
	3 中央ふいご	3 旗 舞	3 旗 舞
	4 選手宣誓	4 旗手宣誓	4 旗手宣誓
	5 選手退場	5 選手退場	5 選手退場
	6 選手退場	6 選手退場	6 選手退場
11:00	1 旗手退場	7 旗手退場	7 旗手退場
	2 旗手退場	8 旗手退場	8 旗手退場
	3 旗手退場	9 旗手退場	9 旗手退場
	4 旗手退場	10 旗手退場	10 旗手退場
	5 旗手退場	11 旗手退場	11 旗手退場
	6 旗手退場	12 旗手退場	12 旗手退場
	7 旗手退場	13 旗手退場	13 旗手退場
	8 旗手退場	14 旗手退場	14 旗手退場
	9 旗手退場	15 旗手退場	15 旗手退場
	10 旗手退場	16 旗手退場	16 旗手退場
	11 旗手退場	17 旗手退場	17 旗手退場
	12 旗手退場	18 旗手退場	18 旗手退場
	13 旗手退場	19 旗手退場	19 旗手退場
	14 旗手退場	20 旗手退場	20 旗手退場
	15 旗手退場	21 旗手退場	21 旗手退場
	16 旗手退場	22 旗手退場	22 旗手退場



【昭和五十一年十一月七日

敬老会】

(第二部

出演者は全員男性でした)



昭和五二年

【仙 台 教 会】

【教 団】

【社会の動き】

一月一日 元旦初参り式典開催 司会 及川欣貞 (参拝者七百人)

奉献の儀 (高校部、女子部、壮年部)

各部代表挨拶

来賓挨拶 菊地辰夫県議会議員 愛知和男衆議院議員

大野教会長挨拶

万歳三唱 梅森県議会議員

一月九日 成人式式典開催 司会 吉沢佐江子

成人代表 佐藤ゆみ子

一月十六日 青年館落成式典開催

導師 野崎教区长 副導師 及川欣貞 橋本昇彦

司会 熊野泰子 挨拶 長谷川裕史(本部)

講話 野崎教区长 謝辞 大野浩司

奉献の儀 長町支部 相馬寛子 野崎安世 小野久美子 佐藤友子

菅原悦子 峯岸明美 遠藤祐子

東支部 伊藤高子 柴田光枝 佐藤ゆみ

仙塩支部 大場敬世 遠藤洋子

北支部 吉沢佐江子 山寺利江子

日航機ハイジャック
王貞治選手七五六本塁打

一月二五日
寒中読誦修行 霊感修行
中央支部 遠藤貴子 佐藤近子 橋本眞理子 佐藤友子
名取支部 猪俣美枝子 仙南支部 加藤綾子

二月三日
節分会式典開催 司会 山寺優江

体験説法 佐藤育夫(東支部) 本間優江(名取支部)

講話 大野教会長

お礼の言葉 年男代表 伊藤享正(名取支部)

二月十五日
涅槃会式典開催 司会 萩谷守代

奉献の儀 青年婦人部

体験説法 本部青年教務員 小兒さん 金井さん

講話 大野教会長

三月五日
創立三九周年記念式典開催 司会 阿部江身

奉献の儀 青年婦人部

体験説法 樋口越子(中央支部) 福島加都江(仙塩支部)

講話 大野教会長

三月二二日
春季彼岸会法要開催 司会 太田恵子 戒名供養願い 三千百二十家

奉献の儀 班長代表二十名

講話 大野教会長

四月十日

降誕会式典開催

司会 佐々木寛依

稚児行列

長町支部 安達欽一 太田とし子 佐々木庸江

名取支部 丘野 小林哲也 庄子享子

中央支部 佐藤智行 相原延江

北支部 白戸 木下修男 中川貴史 庄子貴子

仙南支部 菅野晃生 星光一 浅野智子 長沢 黒岩 笹森

東支部 葛岡真規 三野宮 小木曾 高橋由美 新井基予

仙塩支部 阿部仁 中村雅樹 加藤眞理子 阿部

献灯献花

長町支部 庄子知子 庄子雅一 沼田貢一郎

東支部 中村浩子 飯田啓治 飯田浩士

中央支部 奥田財大 佐藤正行 相原佐知子 中峯宏枝

名取支部 熊谷千加 佐藤正義 阿部博美 沼田明子

北支部 菅原良枝 菅原享 菅原嘉子 細川浩文

青田聡 佐々木久枝

仙南支部 佐々木千賀子 八重樫典子 佐藤高章

仙塩支部 齊藤隆章 石山美保子 岡崎富士美

四月二十日

庭野日敬会長先生をお迎えし

第一回明るい社会づくり運動推進宮城県大会開催（仙台市民会館 千三百人参集）

庭野日敬会長は「明るい社会をつくるには、人間の心の中にある最も美しい思いやりの気持ちを呼び覚まし、お互いに助け合う調和の精神が必要だ。また、地域社会の問題にも目を向け、県民一人ひとりが明社の理念をしっかりとつかみ明るい郷土づくりに邁進して欲しい」と一層の努力を促しました。

五月十五日

青年の日大会開催 司会 片桐基至

青年部活動について 鈴木男子部長

体験説法 武田安世（仙塩支部） 萩谷泰志（東支部）

地区別布教について 橋本高校部長

お言葉 大野教会長

七月十七日

孟蘭盆会大法要開催 司会 鈴木庸公

ご供養願い 三、九三八家 参拝者八五十名

奉献の儀 青年女子部二十名

体験説法 相田輝子（一般） 立花靖雄（壮年） 笹森克昌（青年）

講話 大野教会長

八月十四日

宮城県海難者慰霊祭開催 司会 鈴木庸公（於 桂島 参集者 二百五十名）

奉献の儀

九月二三日

秋季彼岸会法要開催 司会 熊野充利

戒名供養願い 三、七三五家

奉献の儀 青年女子部二十名

長町支部 徳田ひで子 木須道子 木須清子 佐藤佳子

小野久美子 庄子礼子 野崎安代

中央支部 橋本眞理子 松浦晴美 野瀬尚美 野瀬明美

名取支部 斉藤知子 佐藤由美子

仙南支部 武田律子 紺野静子 仙塩支部 寺沢よし子 菊地きみ子

東支部 佐藤ゆみ 熊谷典子 北支部 山寺利江子

読経供養 導師 大野教会長 副導師 佐藤晏弘 及川欣貞

慰霊の言葉 仙塩支部長 桂島区長 大野教会長

長町支部 加藤玲子 佐藤委子 佐藤正代 斉藤佳子

中央支部 菅原由利 川下和枝 遠藤貴子 神永

北支部 小野美智子 石井佳代子 高橋由美子

東支部 庄子一子 福井位枝 高橋まき子

名取支部 斉藤すみ子 森順子

仙南支部 高橋朝子 上遠野智世

仙塩支部 菊地きみ子 高橋良枝

講話 大野教会長 彼岸の意義 熊野充亮

十月九日

教会大運動会開催 (雨のため道場内で実施)

十月二五日

宮城県婦人部結集大会 (於 石巻市民会館)

婦人部長 長町支部 佐藤和子 中央支部 大原佐和子

北支部 太田恵子 東支部 三野宮利江

名取支部 針生知加子 仙塩支部 佐々木寛依

十一月三日 敬老会開催 司会 織笠友理子

お祝いの言葉 目黒一江(少年部) 秋野浩子、遠藤昌宏(青年部)

梅津厚子(組長) 鈴木快枝(主任) 村上益郎(壮年部)

お礼の言葉 渡辺江身子(名取支部)

十一月二七日 青年部二五万人結集大会に参加

十二月 青年部二五万人結集大会を

十二月八日 成道会式典開催

全国各地で開催

十二月十一日 仙台支部発足一八周年記念式典

導師 野崎教区長 脇導師 斉藤友章 片桐基至 橋本昇亮

説法 秋野浩子(中央支部) 佐々木支部長(仙塩支部)

奉献の儀 女子部 森田江位子(長町支部) 針生優子(長町支部) 綿秀子(中央支部)

橋本眞理子(中央支部) 鈴木美津子(北支部) 高橋利江(東支部)

佐山和枝(東支部) 熊谷好美(名取支部)

高橋朝子(仙南支部) 蓬田幸子(仙塩支部)

高校部 野瀬近子(中央支部) 野瀬宣子(中央支部) 五島佐知子(中央支部)

茅根位枝(中央支部) 平山智子(北支部) 大友由加里(名取支部)

熊谷知子(名取支部) 加川千賀子(仙南支部) 藤沢百合子(仙塩支部)

志賀由起子(仙塩支部)

九日

昭和五十二年成人式次第

第一部

司会 吉沢佐江子

一 御 題目三唱 会員綱領

一 会歌 齊唱

一 読経 導師 大野教会長 脇導師 阿部好伸
片桐 甚至

一 祝辞 片桐 青年女子部長
伊藤 中二丁 壮年部 庶務
中島 壮年部長
中村 東支部長

一 記念品贈呈

一 教会長よりお言葉

一 感謝のお言葉 成人者代表 佐藤町子

一 題目三唱

第二部

司会 菊地成佳
佐藤町子

一 題目三唱

一 祝詞

一 成人者の自己紹介と抱負

一 お礼 手品その他

一 分けし心

一 歌唱

一 結句のお言葉 鈴木 青年男子部長

一 題目三唱 会員綱領

（第一部終了後 記念写真と撮りました。）

NO. 1110

【昭和五二年一月十六日 青年館落成式】

旧青年間



新青年館





昭和五十二年節分会次第

司会 山本優江

一 開会

一 起題目三唱

一 会員綱領

一 会歌斉唱

一 読経 導師 大野教会長
副導師 小塚支部長
若次支部長

一 説法 東支部 佐藤有男
南支部 本間優枝

一 講話 大野教会長

一 豆まき

一 福弁配布

一 御礼言葉 ○ 当日

一 閉会

一 起題目三唱

一 祝盃の儀

以上

047004

【昭和五二年四月二十日 第一回明るい社会づくり運動推進宮城県大会】



【七月十七日 孟蘭盆会大法要奉献名簿】

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	名簿 お盆供養 奉献の儀 (女子部 20名)
小野美智子 (北)	野源三津子 (北)	松浦晴美子 (北)	綿秀子 (北)	高橋れい子 (中)	如藤富子 (中)	木須清子 (中)	太田欽子 (中)	針生栄美子 (長町)	針生栄美子 (長町)	
20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	
菊地公子 (仙)	高橋良枝 (仙)	高橋朝子 (仙)	武田律子 (仙)	森孝子 (仙)	斎藤すみ子 (名)	佐山和枝 (名)	福井伍枝 (東)	佐々木恵子 (東)	石井佳代子 (北)	

教会 18周年記念式典 (12月11日(日))
奉献の儀 (女子部 10名、高校部 10名)

〈女子部〉		
1.	森田 江佳子	(長町支部)
2.	針生 優子	(")
3.	綿 秀子	(中央支部)
4.	榎本 真理子	(")
5.	鈴木 美津子	(北支部)
6.	高橋 利枝	(東支部)
7.	佐山 和枝	(")
8.	熊谷 好美子	(名取支部)
9.	高橋 朝子	(仙南支部)
10.	逢田 幸子	(仙南支部)
〈高校部〉		
11.	野瀬 近子	(中央支部)
12.	野瀬 直子	(")
13.	五島 佐知子	(")
14.	茅根 伍枝	(")
15.	平山 智子	(北支部)
16.	大友 由加里	(名取支部)
17.	熊谷 知子	(")
18.	加川 千賀子	(仙南支部)
19.	藤沢 百合子	(仙南支部)
20.	志賀 由起子	(")
(13名 練習)		

【昭和五十二年十二月十一日 十八周年記念奉献名簿】

昭和五年

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

一月一日 教団創立四十周年

成田空港開港

一月一日

元旦初参り式典 司会 大原嘉章

導師 大野教会長 脇導師 佐藤晏弘 阿部好信 片桐基至

辞令授与 青年女子部長 佐藤倭世 婦人部長 中村佳代

挨拶 高校部長 橋本昇 男子部長 鈴木庸公 女子部長 佐藤倭世 少年部長 佐々木康子

壮年部長 中島康雄 ヤング壮年部長 佐々木幹典

長町支部長 谷村公重 中央支部長 志賀野充代 北支部長 妹尾記代子

東支部長 中村浩子 名取支部長 小塚須身子 仙南支部長 笹森優恵

仙塩支部長 佐々木規予 古川支部長 斉藤恭代

大野教会長挨拶 「観世音菩薩さまの心を心として、信者さんの救われを願い、

救い救われるように実行する年である。 眞実顕現の二十年

は過ぎ、本年より普門示現の二十年の始まりの年である。

仏さまの慈悲心をもって人を救い、世を救うことのできる

努力をする事」

一月八日

成人式典開催 司会 山寺利江子

お祝いの言葉 鈴木青年部長 佐々木ヤング壮年部長 秋野壮年部庶務 佐々木支部長

記念品贈呈　　ご著書（明日を信ずる心）

お礼の言葉　　成人代表　山寺康友

一月十日　　妙佼先生ご命日式典開催

教師資格授与

長町支部　安達和世　内藤江身子　岩崎りえ

中央支部　茅根延江　川上いつこ　小野寺君予

野瀬享子　竹重栄子　五島快枝

北支部　大沢延江　高橋里枝　平野隆子

東支部　岩崎伊津子　新井一枝　三浦克予

伊藤浩子　兵藤祐子

名取支部　今野良子　伊藤浩子

南支部　菅野幸江　富塚浩子　佐藤公重

大槻ちや子

仙塩支部　中村桂子　加藤浩子　大場啓予

阿部はるか　高濱しげの　赤間利江子

志賀千賀子　佐藤きよ子

古川支部　鈴木章郎　横井成哲

壮年部　大沢宏至　山寺利幸　織笠賀通

中村光伸

寒中読誦修行　　靈感修行

一月二五日

二月三日

二月三日

節分会式典開催

司会 高野智世

参拝者五百五十人

体験説法

大沼基予子

講話

大野教会長

お礼のことば

飯田勝朗

(東支部)

二月十一日

宮城県教育者教育研究所 開所式

司会 和泉浩輔

開会の言葉

勝又康予

経過報告

金子隆俊

役員選出

所長 大塚恭正

副所長

金子隆俊

総務 和泉浩輔

理事

佐藤佳子

監事

勝又康予

阿部サワ子

来賓祝辞

野崎教区長

講演

演題 「教育と仏教」

仏教真理を基盤とする教師観の確立

講師 中央教育者教育研究所

専門所員

松本州央

二月十五日

涅槃会式典開催

司会 太田浩世

奉献の儀

青年婦人部二十名

体験説法

小山ミツ子 (北支部)

講話

大野教会長

三月五日

教団創立四十周年記念式典開催

司会

橋本昇亮

(参拝者千二百名)

奉献の儀

青年女子部二十名

体験説法

今関哲央 (東支部)

竹間成予 (中央支部)

感謝状授与

日赤血液センターより (所長代理 菅原鉄)

祝辞 衆議院議員 愛知和夫 県議会議員 菊地辰夫
挨拶 大野教会長

三月十九日 青年部七面山登山練成

百円募金実施 九五、四五五円（地域のための募金）

〓二一日

三月二二日 春季彼岸会法要開催 司会 森敬典 （戒名供養願い 三八六十家）

奉献の儀 班長代表二十名

体験説法 妹尾支部長（北支部）

講話 大野教会長

四月九日 降誕会式典開催 司会 木須道予

奉献の儀 少年部二四名 稚児行列 二十名

賛嘆文奏上 星光亮 （仙南支部）

体験説法 佐藤元昭 （名取支部青年部）

講話 大野教会長

六月一日 教会ご命日

辞令授与 初代仙台教会教務主任 志賀野充代

仙台教会教務員 萩谷守代

六月五日 虚空蔵菩薩ご命日

講話 大野教会長

「六月四日本部指導会において、これから

会長先生は『開祖会長先生』、妙佼先生は『脇祖妙佼先生』と
お呼び申し上げるようになりました」

六月十二日 庭野日敬会長先生

第一回国連軍縮特別総会で演説

六月十二日

宮城県沖地震で教会道場被害甚大（震度五 M七・五）

死者 十三名 重軽傷者 九千三百人 家屋全半壊 四千二百戸

宮城県沖地震によつて教会道場は倒壊し、会員宅の損壊など被害が続出しました。
さつそく、教会長さんを中心に教会道場の復旧作業を行い、教団本部や全国の教会
から寄せられた救援物資の被災会員への配布にとりかかりました。

六月十四日

七面大明神ご命日

法座、会議は中止して、地震後の教会大掃除

六月十五日

釈迦牟尼仏ご命日

本部教務課鶴見氏が震災お見舞いで来仙。大野教会長と共に震災信者さん宅を訪問

七月一日

教会ご命日

震災で道場が使えず、青年館を使用することとなる

この日以降、式典は二組に分けて行う

七月十五日 孟蘭盆会大法要 第一組（長町、北、名取） ご供養願い 二、二二一家 参拝者五八四名

司会 森敬典 体験説法 堀米佐依子（長町支部）

七月十六日 孟蘭盆会大法要 第二組（中央、東、南、仙塩） ご供養願い 二、〇二十家 参拝者四五一名

司会 片桐延江 体験説法 荒川典子（東支部）

九月十日 妙佼先生二二回忌法要開催 司会 織笠裕章

奉献の儀 青年女子部、高校部

長町支部 佐藤委子 太田豊子 佐藤公重 須藤和恵

中央支部 村上かよ子 斉竜子 茅根位枝 川上

北支部 兎沢班美 北条静枝 瀬戸陸予 奥原貴子

東支部 寺沢美子 佐藤恵子 兵藤京子

名取支部 森順子 斉藤弘子

仙南支部 増子和枝 小幡和子 土生宏子

仙塩支部 高田久子 岡崎友理子

体験説法 川上佳延（中央支部） 森敬典（名取支部）

講話 大野教会長

九月二二日 秋季彼岸会法要開催 第一組 戒名供養願い 二、一七七家

司会 中村支部長

奉献の儀 班長代表二十名

体験説法 小塚支部長

講話 大野教会長

九月二二日 秋季彼岸会法要開催 第二組 戒名供養願い 二、〇一二家

司会 佐々木支部長

奉献の儀 班長代表二十名

体験説法 中村支部長

講話 大野教会長

十月十七日 婦人部大会開催

十一月十二日 会長先生お誕生会式典開催 司会 秋野浩子

体験説法 鈴木庸公(男子部長) 新井(壮年部) 山寺主任

青年部代表挨拶 熊野泰子(青年女子部庶務)

講話 大野教会長

十一月二八日 仙台支部発足一九周年記念式典開催

体験説法 中村浩子支部長

十二月八日 成道会式典開催

十二月十日 新道場建設地鎮祭 司会 及川欣貞

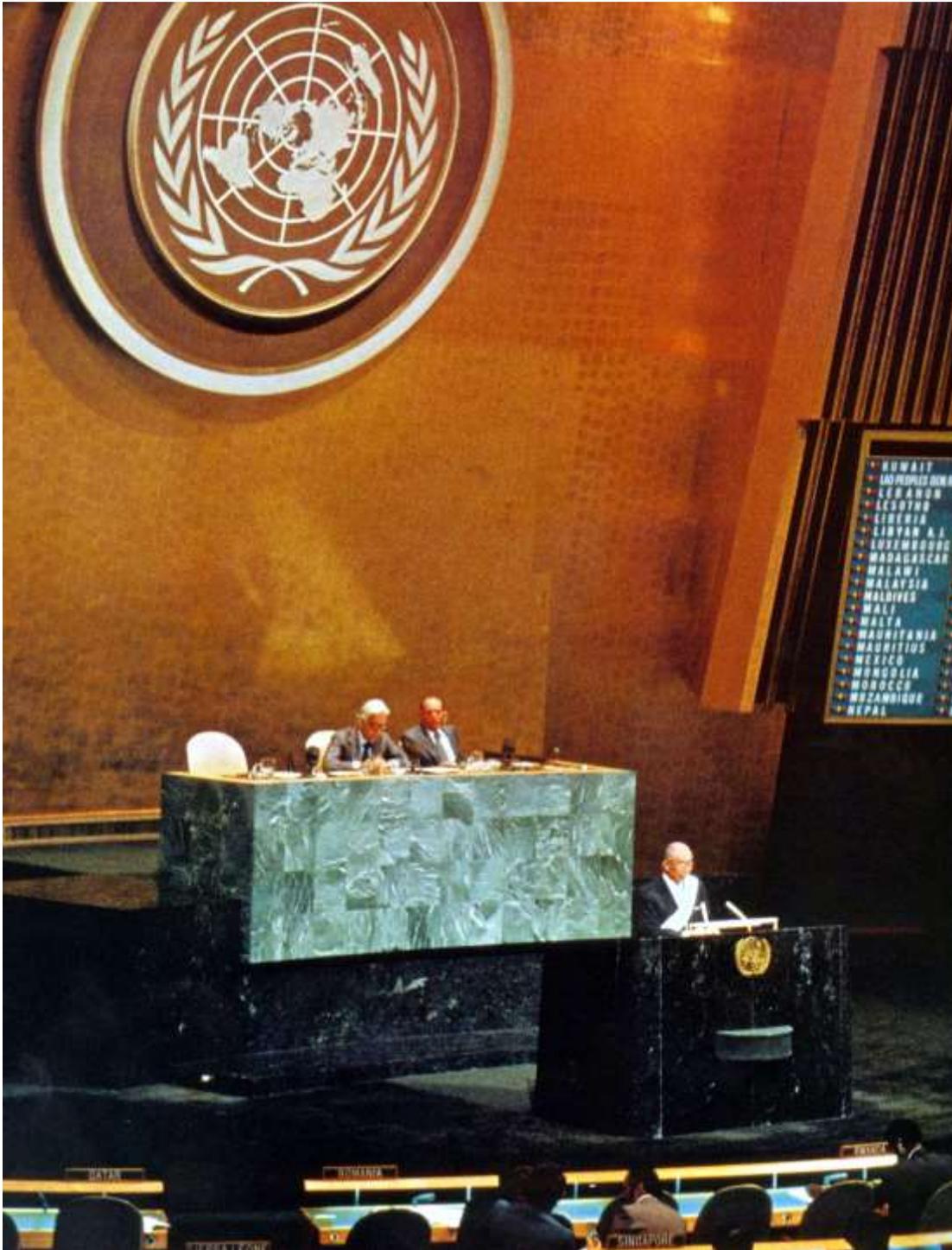
読経供養 四方清めの儀 鍬入れの儀

挨拶 野崎教区長

九月二四日 菅沼錬成道場完成

十一月十四日 法輪閣落成

十二月一日 庭野平和財団設立



【昭和五十三年 六月十二日 庭野日敬会長先生第一回国連軍縮特別総会で演説】

初詣

献灯の儀
高校部 28名

1.	太田 泰正	(長所)
2.	木沼 孝至	(中央)
3.	池永 優	(〃)
4.	野瀬 近子	(〃)
5.	野瀬 宣子	(〃)
6.	五島 宏枝	(〃)
7.	茅根 位江	(〃)
8.	川上 ミユキ	(〃)
9.	白戸 克昌子	(北)
10.	桂 佳代子	(〃)
11.	橘 良枝	(〃)
12.	今関 哲央市	(東)
13.	遠藤 育市	(〃)
14.	村上 高一章	(〃)
15.	飯田 記善徳子	(〃)
16.	高山 田善恵子	(〃)
17.	山田 藤京子	(〃)
18.	丹野 江美子	(〃)
19.	及川 光広	(名)
20.	庵原 延郎子	(〃)
21.	熊谷 知子	(〃)
22.	士生 宏子	(仙南)
23.	鈴木 康之	(仙盛)
24.	斎藤 浩	(〃)
25.	志賀 由起子	(〃)
26.	小幡 周峰隆天	(東)
27.	藤沢 百合子	(仙盛)
28.		

高校部名簿

【昭和五三年元旦初参り式典奉献の儀】

(高校部、女子部、壮年部 六八名)

【昭和五三年三月十九日青年部七面山登山練成】

前列 左から五人目谷村支部長さん
中央 大野町会長 御旗 橋本さん





【昭和五三年六月十二日

宮城県沖地震】



【昭和五三年 九月二一、二二日 秋季彼岸会法要 奉獻の儀】

奉獻お役 班長名簿

班長代表
 丸山智子 津新藤小 日藤貴山 子お子 子 子
 佐久木徳子 新藤小 山久向 子 子
 高橋成子 小久向 後藤入江 子 子
 今松トナリ 佐久向 小嶋みや子 子
 永浦トナリ 後藤入江 小嶋みや子 子
 小原利子 小嶋みや子 大友はつみ 子
 右井好世 熊谷子代 島 子
 佐藤みや子

班長代表
 河田栄子 小野幸陽子
 鈴木恒子 菅原多栄子
 中橋祥江子 高橋孝子
 竹圃成子 佐藤徳子
 鹿野智子 中沢幸子
 後藤宣子 中向子
 杉田子 加藤子
 鈴木真子 浅野院子
 田中藤子 太田子
 保藤律子 尾 子



【十二月十日 新道場地鎮祭】
 野崎教区長 大野教会長

【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

昭和五四年

一月一日

元旦初参り式典 司会 織笠裕章

挨拶 青年部長 鈴木庸公 壮年部長 中島康雄

一月十四日

成人式及び青年部ご命日 (司会 及川欣貞 成人代表 川下和枝)

導師 大野教会長 脇導師 佐藤兼一 沼田嘉章 阿部浩士

説法 織笠裕章 挨拶 川村公重 成人者代表 川下和枝

成人者 男子部

長町支部 太田光男 鈴木善得 石森孝義

中央支部 茅根利安 鈴木一男 高橋昭

北支部 佐藤正道 尾形和

東支部 佐藤誠一 新井孝典 高沢徳幸 伊藤夏夫

名取支部 佐藤広道 仙塩支部 星 昭 古川支部 瀬戸尉之

女子部

長町支部 千葉行恵 小林尚子 庄子浩代 村山悦子

中央支部 川下和枝 永野恵子 両国文子

北支部 小野昌子

東支部 村上くみこ 志鎌幸子 大内登志美

名取支部 熊谷好美 森とき子

「ウォークマン」発売
パソコン誕生

仙塩支部 高橋良枝 菊地きみ子 加藤ひとみ 佐藤美智子

一月二十日 寒中読誦修行、霊感修行

二月三日 七支部を三組に分けて一組五日間 合計一五日間実施

二月三日 節分会式典開催 司会 熊野 泰子 豆まき 福升配布 二二七名

説法 千葉京子(東支部)

講話 大野教会長 お礼の言葉 川上佳延(中央支部)

二月十五日 涅槃会式典開催 司会 立花伸江

奉献の儀

説法 高沢克枝主任(東支部)

講話 大野教会長

三月四日 創立四一周年記念式典 司会 佐藤記子

説法 武田安世(青年部) 相沢位江(東支部)

講話 大野教会長

三月十九日 春季彼岸会法要 一日目 司会 菅野江里子(戒名供養願い 一、三四五家)

説法 谷村支部長

三月二十日 春季彼岸会法要 二日目 司会 片桐延江(戒名供養願い 一、六六七家)

説法 尾形支部長

三月二一日 春季彼岸会法要 三日目 司会 太田浩世(戒名供養願い 一、四七五家)

説法 中村支部長

四月八日 降誕会式典開催 司会 山寺康友

四月九日 庭野日敬会長先生

「テンブルトン賞」を受賞

説法 藤貫隆央

講話 大野教会長

五月五日 青年統一行動日 八支部で募金（五七万円）

五月二十日 叢塚（くさむらづか）コレラ病没者慰霊祭 司会 熊野泰子

挨拶 大野教会長

七月一日 新道場上棟式 司会 遠藤昌宏 （場所：新道場三階 千八百人参拝）

四方清めの儀 野崎教区長 大野教会長 岡田錢高組支店長

挨拶 野崎教区長 岡田錢高組支店長

謝辞 大野教会長

レセプション 有識者、議員等四五名

七月十四日 孟蘭盆会法要 一日目 司会 福井千代（ご供養願い 一、五三八家）

説法 小塚支部長

講話 諸井立花産業相談役

七月十六日 孟蘭盆会法要 二日目 司会 佐々木康予 （ご供養願い 一、四五四家）

説法 笹森支部長

七月十七日 孟蘭盆会法要 三日目 司会 茅根延江 （ご供養願い 一、七八二家）

説法 佐々木支部長

八月二六日 第三回宮城県海難者慰霊祭 司会 佐藤誠一 （於 桂島）

奉献の儀 青年女子部二十名

挨拶 地元地区長 内海様

挨拶 大野教会長

献花の儀 来賓 遺族代表

式典後 清掃奉仕 レクレーション

九月一日 教会ご命日 (明日の遷座式、引越しの準備)

九月二日 青年館より新道場にご本尊遷座式

九月十六日 青年結集大運動会 司会 熊野泰子 (泉市厚生年金スポーツセンター)

九月二四日 秋季彼岸会法要 司会 福井千代 (戒名供養願い 四、七四八家)

奉献の儀 組長代表二十名

説法 針生主任 (名取支部)

九月より各行事は新道場で開催するため組分け解消

九月三十日 ヤング壮年部結集大会 司会 武田吉正

開会の言葉 大沢宏至 説法 荒川禎唯

決意発表 中村光伸 謝辞 鈴木幹典

講話 大野教会長

十一月一日 庭野日鑛先生をお迎えし

新道場落慶並びに発足二十周年式典を挙行 司会 藤貫隆央

奉献の儀 青年女子部十六名

説法 今関哲央

教区長挨拶 野崎教区長

八月二九日 第三回WCRP開催

十月二日 「一食を捧げる運動」の
国民運動化を訴える

布教本部長挨拶 森岡延浩

ご法話 庭野日鑛先生

来賓挨拶 愛知和男衆議院議員 石井亨宮城県副知事

謝辞 大野教会長

参拝者 一般二、七九五名 青少年一千名 役員、来賓二六四名 合計四、一五九名

アトラクション 壮年部 演劇

婦人部チャリティーバザー 一五万円 街頭募金、辻説法

上 棟 式 お 役

放送		及川欣貞、高橋秀知(長町)
接待案内	支部長	小野欽代(長町) 岡本孝子(長町)
		川下和枝(中央) 阿部恵子(東) 佐藤幸子(東)
		吉田順子(仙南) 峰谷き子(仙塩) 三塚しづ子(西川)
		織笠友里子(北) 熊谷典子(名取)
来賓受付 一般	支部長	宮島佐和子(中央) 高橋良枝(塩)
		佐藤記子(北)
配付運搬 お餅配布	支部長	柴田和徳(長町) 政嘉良和(長町) 高橋良仁(中央)
		伊藤恵造(東) 笹森克典(仙南) 川熊光輝至(西川)
		佐藤匡史(北) 永山和男(仙南) 藤原延郎(名取)
会場系		壮年部
交通整理		壮年部
		まき餅(紅、白) 2,500枚
		五月硬貨 2,300枚
		日本銀行で新円に取換える
来賓のばお花	役員にはリボン	リボンは五色を用い 五月の結を飾る

【昭和五四年七月一日 新道場上棟式 お役】

第3回 宮城県海難者慰霊祭 - お役名簿 -

お役	氏名	支部	お役	氏名	支部
再師	大野 教会長		奉獻の儀	木須 道子	長町
品再師	笹森 克典	仙南	(20名)	小野 欽代	〃
	遠藤 昌宏	仙塩		庄子 真理子	〃
司会	佐藤 誠一	東		橋本 真理子	〃
準備委員 (26)				野崎 守代	〃
幹事(責任)	斉藤 晃生	古川		村上 カヨコ	中央
〃	高橋 秀知	長町		佐藤 友子	〃
会場、L7(責任)	鈴木 康修	中央		本間 淑子	〃
会場(責任)	佐藤 若一	北		吉沢 佐江子	北
〃	太田 輝夫	名取		佐藤 記子	〃
L7(責任)	加藤 信一	仙南		村上 くみこ	東
	伊藤 幸治	東		熊谷 典子	〃
	工藤 次敏	仙塩		織江 勝美	〃
				相沢 京子	〃
				大友 〃〃〃	名取
				蓮田 幸子	仙塩
受付 (20)	勸使河原 みゆ子	長町		高橋 敏子	〃
	秋野 浩子	中央		高橋 利枝	〃
	志田 晃子	北		遠藤 美恵子	〃
	佐藤 由里	東		小玉 寿美子	〃
持付 (2)	阿部 記子	東			
	佐藤 浩子	名取			

【昭和五四年八月二六日 第三回宮城県海難者慰霊祭 お役】



【新道場落慶並びに発足二十周年式典】
庭野日鑛先生ご挨拶



大野教会会長さん謝辞



【仙台教会】

【教団】

【社会の動き】

昭和五五年

一月一日 元旦初参り式典 司会 萩谷泰志 新支部長八名に辞令

奉献の儀 (男女部、高校部、婦人部、壮年部 八十名)

挨拶 青年部長 鈴木庸公 壮年部長 中島康雄

一月十三日 成人式 (司会 高橋秀知 成人代表 大沼孝至)

一月二一日 寒中読誦修行、靈感修行

二月四日 一支部(古川除く)を三組で一組五日間 合計一五日間実施

二月十九日 南支部発足記念式典 (新支部長 斉藤貴子)

二月二十日 中央第二支部発足記念式典 (新支部長 茅根延江)

二月二一日 東第二支部発足記念式典 (新支部長 中村佳代)

二月二二日 名取支部発足記念式典 (新支部長 針生知加子)

仙台教会十二支部体制となる

三月二十日 春季彼岸会法要 (戒名供養願四、七三二家 古川、仙南除く)

三月二八日 中学部練成 (青年館 八十名参加)

イラン・イラク戦争

五月十八日 青年統一行動日 (田沢ともはるを支援する会)

六月二日 庭野日敬会長先生イラン訪問

米大使館員らの人質解放要請

七月六日 宮城県海難者慰霊祭 (於 桂島 諸精霊 九五七体)

七月十日 家庭教育の集い 講師 村松美智子氏 「八十年代の子供を育てる母の心」

七月十五日 孟蘭盆会法要 (ご供養願い四、八三二家)

九月二三日 秋季彼岸会法要 (戒名供養願 四、四八二家 古川、仙南除く)

十月九日 婦人部大会 映画 「マザーテレサとその世界」 講話 村瀬青年本部長

十月十九日 壮年部結集大会 「八十年代を壮年はどう行動すべきか」

十月二六日 学生部友情大会 (中学部 高校部)

十二月十五日 教会発足二一周年記念式典

【昭和五五年五月十八日

青年統一行動日

(田沢ともはるを支援する会)】



青年の日 統一行動 企画内容

— お役 —

大会委員長	鈴木 庸公	
司会 (1)	山寺 康友	
進行 (1)	太田 高史	
伝令 (1)	横堀 裕通	
記録 (1)	橋本 真理子	
受付 (4)	村上 くみこ	志鎌 由記子
	森藤 ひろ子	
招待 (2)	秋野 若子	吉田 順子
場内 (2)	遠藤 昌宏	細川 靖司
場外	扛斗部	

— 準備 —

5/13	14	15	16	17	18
事務局長	① 呼び込み ② シフト表 (10時) ③ 振りのり名刺作り ④ 歌詞カード印刷 田沢ともはる音頭 役員証作り	① 呼び込み ② 参加者名簿作り ③ 名簿	当日使用	当日 将経書及確認 立上る様 会場準備 11:30	

【仙台教会】

昭和五六年

一月一日 元旦初参り式典 司会 遠藤昌宏

奉献の儀 (男女部、中学部、高校部、壮年部 五十名)

挨拶 青年部長 鈴木庸公 壮年部長 中島康雄

一月十一日 成人式 (司会 木須道予 成人代表 今関哲央)

一月二一日 寒中読誦修行、靈感修行

二月四日 十一支部(古川除く)を三組で一組五日間 合計一五日間実施

二月十日 婦人部の集い 家庭教育講演会 講師 山内克予氏

三月二二日 春季彼岸会法要 (戒名供養願 四、六十三家 古川、仙南除く)

四月五日 大野浩司教会長さん本部に転任

【教団】

一月 本会の政治理念を

各党首に表明

【社会の動き】

中国残留孤児

初の正式来日

【大野教会長さんと婦人部】

